

社会教育委員の役割

宮崎市民プラザ オルブライトホール

第3分科会

社会教育委員が縦と横との連携の軸に



【討議の視点】

- ・地域の課題解決のために主体的に取り組む社会教育委員の活動について

【発表の概要】

発表1 福岡県 古賀さん、藤木さん

- ・毎月1回の社会教育委員の定例会議で、平成16年度から継続して「家庭教育の振興方策」について協議・調査・研究を行っている。
- ・食育に関する調査研究の成果等を、学校で活用するとともに、町民にも啓発している。

発表2 沖縄県 島尻さん

- ・平成21年度に社会教育委員を中心にボランティア団体「みゃ〜くの会」を立ち上げ、医療・保健・福祉・教育等との連携を図り、団塊の世代を巻き込み、地域づくりに取り組んでいる。
- ・現在は県立看護大学と連携し看護師の育成が中心だが、今後は社会教育委員のネットワー



クを生かして福祉や教育における人材育成に広げていきたい。

【討議の柱】

- ①社会教育委員として、どのように地域のニーズや課題をとらえればよいか。
- ②社会教育委員として、課題解決に向けたビジョンをどのように生み出せばよいか。

【討議の概要】

(前半は、あいさつ運動や食育運動と地域の課題についてが中心)

- ・社会教育と福祉は密接な関係があるが、社会教育委員は福祉には入り込めない。地域の課題について、委員として考えること、委員会として考える場合があるのではないか。
- ・自分の領域だけではなく、幅広い視野で課題をとらえ、情報を分かち合って活動を進めていきたい。
- ・社会教育委員の役割は時代とともに変わり、課題も変わる。先を読むことが大切である。
- ・何かをやる時に、裾野を広げていくこと、協力者を増やしていくことが社会教育委員の役割であると考えます。

【まとめ】

- ・これからは、縦（行政機関）と横（関係団体）の連携が必要である。縦と横の軸の中心である社会教育委員の幅広いネットワークを生かして、社会教育委員だから知っている関係団体との横の広がりをつくっていただきたい。
- ・いろいろな人の意見を吸い上げて答申し、教育委員会へとつなげていく。社会教育委員は、民意を伝えることができるという大事な役割を担っている。



※詳細は、宮崎県生涯学習課ホームページ「学び応援ネット」に掲載されています。